



院長

鬼塚 俊明 (おにつか としあき)

略歴

- 1991年 九州大学医学部卒、九州大学精神科神経科入局
- 2000年 米国ハーバード大学医学部精神科研究員
- 2004年 九州大学病院精神科神経科助教
- 2008年 九州大学病院精神科神経科講師
- 2015年 九州大学大学院医学研究院精神病態医学(精神科神経科)准教授
- 2021年 九州大学大学院医学研究院神経画像解析学教授



診療科

- 一般精神科
- アルコール・薬物依存症
- 専門外来
- こころのリスク外来

病床数
175床

- 精神科病棟 157床
- 医療観察法病棟 18床
- 強度行動障害ユニット

病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

The most important person in this hospital is the patient.

依存症関連問題市民公開講座を開催しました

精神保健福祉士 細川 護之

2025年2月15日(土)、三重県総合文化センターレセプションルームにおいて、令和6年度依存症関連問題市民公開講座を開催いたしました。この講座は、当院が三重県から指定を受けているアルコール健康障害・薬物依存症・ギャンブル等依存症の治療拠点機関として、幅広い方を対象に依存症に関連する情報の発信・普及啓発を目的として年1回開催しているものです。

昨年度までは新型コロナウイルス感染防止の観点からオンラインでの開催としておりましたが、今回は公共の会場での対面集合形式で開催いたしました。当日は快晴となり、一般の方のみならず医療・福祉・行政等を含めて40名のご参加をいただきました。

講座の前半は、我が国のアルコール依存症治療発祥の地であり、現在は依存症対策全国センターとして治療・研究の最前線にある国立病院機構久里浜医療センターから、松崎尊信先生を講師にお迎えし、「お酒とどう付き合うか?～アルコール依存症の基本と最新の治療について～」と題してご講演いただきました。アルコールが身体に与える影響や、依存が形成され依存症と診断されるまでの仕組み、心理面にも留意した依存症の方への治療など、豊富なご経験を基にわかりやすく解説していただきました。

事前に参加者から挙げられた質問にも丁寧に答えていただき、支援者のかかわり方などに関して示唆に富む助言をお聞かせくださいました。最近では世間のアルコール依存症に対するイメージが大きく変化し、著名人の方による情報発信も盛んになりましたが、こうして医学的・心理的に依存症や治療の基本について解説していただく機会は貴重であり、参加の皆様はもちろんのこと、普段から治療に携わっている当院のスタッフにとっても大きな学びとなったように思います。

講座の後半は、松崎先生に加えて当院の鬼塚院長、壁屋心理療法室長も登壇し、アルコール依存症の問題について対談を通じて考えました。会場からの質問なども交え、三重県の担当者から県の施策についてご紹介いただくなど、大変有意義な時間となりました。



依存症に関連する問題は、まだまだ「意志の問題、本人の責任である」と世間に誤解されていたりして、当事者の方の心理的抵抗も強く、治療や回復にスムーズにつながらない現実が存在します。当院は今後も医療や精神保健福祉の立場から、この問題に関する情報発信と普及啓発に努め、一人でも多くの方(当事者だけでなく家族など周囲の方も含めて)に、治療を提供していきたいと思っております。

気になること、心配なことがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。



【公共交通機関(電車・バス)】

久居駅下車 三交バス(車庫前行) (約30分)

【車】

久居インターより (約20分)

【無料送迎マイクロバス】

当院～久居駅間を往復(約20分)
※運行表は以下をご参考ください。



マイクロバス運行予定表 (※土日祝日を除きます。)

	①	②	③	④
		火曜・木曜		水曜・金曜
病院 発	8:40	10:40	12:10	15:30
久居駅 発	9:00	11:00	12:30	15:50
病院 着	9:20	11:20	12:50	16:10



地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和7年2月までに**全症例は169例**となりました。新規導入は1・2月は2例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。

認知症医療、こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。

したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

デイ・ケア案内

デイケアは、南2階で月、火、水、金の9:30から15:30まで活動しています。皆さまそれぞれの目標に合わせて、生活リズムを整えたり、仕事や作業所に通う体力を獲得したり、リフレッシュしたりと、活動に取り組んでおられます。最近の人気プログラムは、調理、スポーツ、喫茶、麻雀です。調理では、栄養士による指導を受けることもできます。

今年に入り、お昼の活動時間を少し変更し、毎日ミーティングを行っています。自由参加ですが、自分の思いを語り、他の参加者の思いを聞く、大切な時間になっています。

病院のホームページや、外来に月間プログラム表がありますので、どうぞご覧ください。



メンバーが共同制作した
カレンダーです。
一足早く春が来ました。



こちらはメンバーが作った昼食です。

ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。



デイケア案内、プログラム表については、こちらをご覧ください。



栄養コラム

歯の健康と栄養について

歯の健康は全身の健康に直結すると言われています。歯周病菌が血流に入り込むと心臓病や脳卒中、糖尿病などのリスクが高まります。糖尿病患者は歯周病にかかりやすく、逆に歯周病が糖尿病を悪化させることもあります。高齢者では誤嚥性肺炎の原因となることもあります。食後の歯磨きやフロスで歯と歯の間の汚れを取り除くことが大切です。

歯の健康には適切な栄養摂取も不可欠で、カルシウムは歯のエナメル質を強化し、乳製品や小魚に豊富に含まれます。ビタミンDはカルシウムの吸収を助け、日光浴や魚、きのこから摂取できます。ビタミンCは歯茎の健康を保ち、柑橘類やピーマンなどの食材に含まれています。砂糖は歯のエナメル質を侵食し、虫歯や歯周病の原因になるため、摂りすぎには注意し、食後は歯を磨くか口をすすぎましょう。

